

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	2019
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.92, No.1 (2019. 1) ,p.ix- xii
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	赤木完爾教授退職記念号
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-20190128--009">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-20190128--009</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 目次

目次	
序	岩谷十郎…… v
フェイクニュースとジャーナリズム論	大石裕…… 一
日米戦争下の敵愾心昂揚についての一考察 ——ガダルカナル島撤退との関連で——	玉井清…… 二七
国連創設とイギリス外交 ——「国際連合」と「西欧連合」の狭間で——	細谷雄一…… 四七
国際関係論におけるパラダイム間論争 ——学説史からの考察——	宮岡勲…… 七三

盧武鉉政権期の日韓関係  
——韓国の新しい秩序認識の台頭——  
……………  
西野純也…………… 九七

中台間の現状変更  
——航空路M五〇三をめぐる——  
……………  
安田 淳…………… 二七

民事訴訟における専門委員制度の現状と課題  
……………  
三木浩一…………… 三九

意思表示の効力発生時期再論  
——到達主義の徹底とその問題点——  
……………  
北居 功…………… 一五

日米安保体制の輪郭  
……………  
中島信吾…………… 一八五

台頭国の自制戦略  
——論理と阻害要因——  
……………  
今野茂充…………… 三二一

子ども兵士をめぐる倫理問題の検討  
……………  
眞嶋俊造…………… 三三五

中国の国際人道活動と外交政策のリンケージ	……	廣野美和	二五五
第一次西園寺内閣の国防政策	……		
——軍備拡張の抑制と積極的外交政策——	……	平野龍二	二七九
ローズヴェルトの戦後構想と中国	……	李錫敏	三〇五
林毅陸の国際政治論	……		
——戦間期国際秩序と日本——	……	滝田遼介	三七七
アフリカにおける非対称的な安全保障課題と軍事力の役割	……	神宮司覚	三五二
国際関係理論と事例研究	……		
——新たな方法的枠組みの構築に向けて——	……	伊藤隆太	三七九
岸信介政権期日米関係と東南アジア開発問題	……	浜岡鷹行	四〇五

---

Modern State Building in an Asian Context: Revisiting the Meiji Restoration

..... YAMAMOTO Nobuto... 四六四

---

赤木完爾教授略歴・主要業績 ..... 四二七